

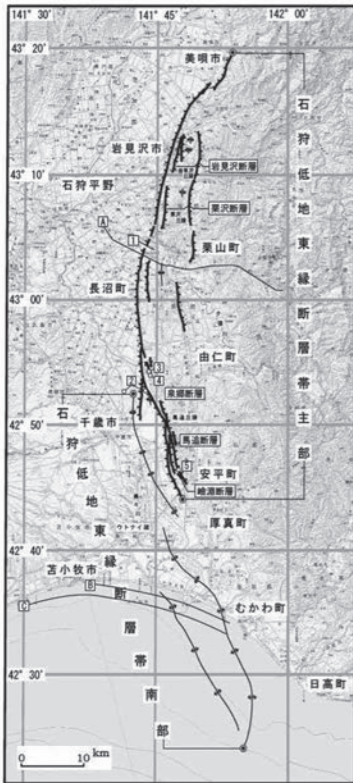


「もしものとき」は明日かもしれない 問い合わせ 総務課 防災グループ ☎27-2481

# 防災のページ

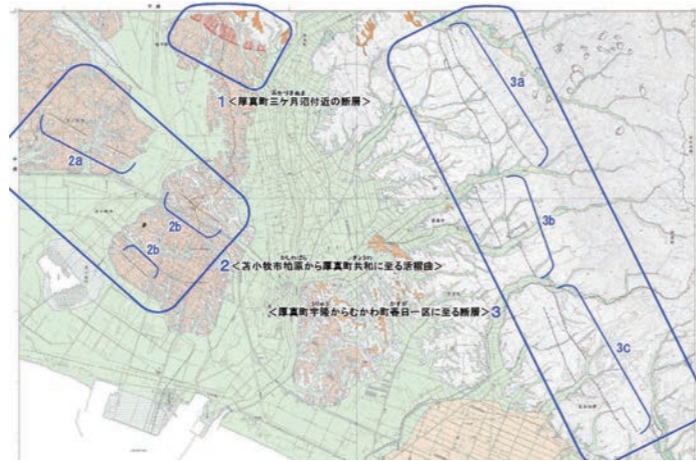
## 石狩低地東縁断層帯とその周辺「鵜川」の公開について

政府の地震調査研究推進本部は、平成29年度から全国の主要活断層帯の位置情報等について「1：25,000活断層図」として整備・公開しています。  
 昨年11月に国土地理院が公開した「1：25,000活断層図 鵜川」について紹介します。



(図1) 石狩低地東縁断層帯図

◀石狩低地東縁断層帯は、主部と南部に区分されており、主部は美幌市から安平町付近までの長さ約66km、南部は長沼町馬追丘陵から安平町を通過してむかわ町方向の海底まで続き、その長さは約54km以上と推定されます。



(図2) 活断層図「鵜川」

▲昨年公開された活断層図「鵜川」には、厚真町内にも大きく3つのゾーンの活断層があるとされています。

- 1 厚真町三日月沼付近
- 2 苫小牧市柏原から厚真町共和
- 3 厚真町宇隆からむかわ町春日一区

平成30年北海道胆振東部地震と石狩低地東縁断層帯との関連性については、地震の専門家によると以下の理由から、関係性はないといわれています。

- ①石狩低地東縁断層帯の方向と地震の方向軸が違う
- ②石狩低地東縁断層帯のある深さが違う(石狩低地東縁断層帯の深さは約10km前後、これに対し胆振東部地震の深さは37km)

言い換えれば、胆振東部地震のような大きな地震が、石狩低地東縁断層帯でまた、起きる可能性があるということです。

### 突然の地震災害に備えましょう。

突然の大きな地震が発生しても、被害に遭わないように、寝室や子ども部屋にできるだけ家具を置かないようにし、置く場合もなるべく背が低い家具にしたり、家具を固定または倒れた時に出入口をふさいだりしないように家具の向きや配置を工夫しましょう。

このほか、非常持出品と非常備蓄品を備えておきましょう。

非常持出品は、避難する時に最初に持ち出すものです。また、非常備蓄品は、復旧までの数日間を支えるものです。国の防災基本計画では、「最低3日間、1週間分の備蓄」を推奨しています。

今年1月に地震調査研究推進本部地震調査委員会「長期評価による地震発生確率値の更新について」を公表しました。

厚真町に大きな被害をもたらすとされる石狩低地東縁断層帯南部の地震は、マグニチュード7.7以上、30年以内の発生確率が0.2%以下の「Aランク」(やや高いグループ)と算定されています。

平均活動間隔は1万7,000年以上で、最新活動時期は不明です。(いつ起こるかは予測不可能)

以上のことから、町に影響のある地震は、比較的高い確率で発生する可能性は否めません。

# 議会

## 令和3年第1回定例会

令和3年第1回定例会が3月8日から16日まで、9日間の会期で開催されました。審議されたのは、令和3年度各会計予算など議案31件、報告5件、承認1件で、いずれも原案どおり可決・承認されました。

## 承認

◇令和2年度厚真町一般会計補正予算  
 令和2年度厚真町一般会計補正予算は、歳入、歳出にそれぞれ1,000万円を追加し、総額は1,52億9,518万円になりました。

## 議案

◇令和3年度厚真町各会計予算  
 令和3年度厚真町各会計予算の総額は、112億1,470万円となりました。

◇令和2年度厚真町一般会計補正予算  
 令和2年度厚真町一般会計補正予算は、歳入、歳出それぞれ6億7,384万円が減額され、総額で14億6,213万4千円になりました。補正された主なものは、次のとおりです。

【追加】

- ・医療福祉介護保育従事者慰労金交付事業 ……850万円
- ・除雪委託料 ……1,000万円

## 行政報告

▼路線バスの廃止について  
 道南バス株式会社から本町に対し、令和3年2月24日付文書「特急ひだか号の路線廃止について」により、本年4月1日に予定するダイヤ改正をもって特急ひだか号を廃止する旨の通知がありました。

廃止の理由は、JR日高線(鵜川・様似間)の鉄道事業が廃止されるに伴うバス転換によるものであります。また、同ダイヤ改正において、平取町および新ひだか町静内と苫小牧市を結ぶ路線の見直しもあわせて行われる予定であり、これらにより、上厚真停留所を経由する同社の路線バスは、苫小牧駅行きが現在の1日5便から4便

に、苫小牧駅前発日高方面行きが現在の5便から7便(うち1便は土日運休)になる予定です。町では引き続き、事業者や近隣市町と連携・協調しながら、路線バスの維持存続に向け最善を尽くしてまいります。

▼暴風雪による農業被害について  
 3月2日に、発達した低気圧の影響による暴風雪により、農業用ビニールハウスが損壊する被害が発生しました。

短時間に集中して重く湿った雪が堆積したことにより、ビニールハウスの倒壊、パイプの変形や歪みなどの施設被害に加え、農作物を作付けしていたビニールハウスもあり、作物被害も発生しました。

3月2日から3日にかけて、町とJAにより全町被害調査を行い、ビニールハウスの損壊17戸25棟、ビニールハウス倒壊に伴う生育中のホウレンソウの折損10アールの被害を確認したところであります。

被害額については現在調査中でありませんが、施設被害で550万円、農作物被害で50万円、被害総額で600万円程度と見込んでおります。

▼エネルギー地産地消事業の進捗について  
 厚真町エネルギー6次産業化コンソーシアム(構成員…エーゼロ株式会社、厚真町)が実施する厚真町「地産地防」エネルギー6次産業化プロジェクト事業(北海道補助事業)において、第2期公募の結果、請負事業者を決定しましたのでご報告いたします。公募方法については、町ホームページ

ジにおいて募集を行い、1月21日に参加表明書の提出、1月28日に企画書の提出を求めております。

その結果、1社からの企画提案があり、書面による1次審査を経て、2月3日にプレゼンテーションによる2次審査を行い、「地産地防・エネルギー産業コンソーシアム(主幹企業…株式会社ワンテール・ライフプランニング(宮城県))」を請負事業者に決定しました。

企業版ふるさと納税(基金)を活用した町独自のエネルギー地産地消事業については現在公募手続き中でありません。

▼オリンピック・パラリンピックホストタウンについて  
 令和3年第2回臨時会でご報告させていただきましたリトアニア共和国との厚真町、安平町、むかわ町3町合同でのホストタウンとしての受け入れにつきまして、国とリトアニア共和国との協議が整いましたので、今年2月26日に、むかわ町でリモート形式によるリトアニア共和国とのホストタウン合意調印式を執り行いました。リトアニア共和国側からは、同国オリンピック委員会ダイナ会長、オリンピック基金マンタス会長が出席され、日本側は来賓として駐リトアニア日本特命全權大使の山崎氏にリモートで出席いただいた中、厚真町、安平町、むかわ町の3町長との交流実施合意書の取り交わしを行いました。

明確な内容は決定しておりませんが、今後リトアニア共和国と協議を継続してまいります。